

<使用開始日>  
2013年4月24日

# 業種別インデックス・セレクト・ファンド

- ・Aコース(建設)
- ・Bコース(食品・水産)
- ・Cコース(繊維・紙パルプ)
- ・Dコース(化学)
- ・Eコース(医薬品)
- ・Fコース(石油・非鉄関連)
- ・Gコース(鉄鋼・造船・金属)
- ・Hコース(機械・精密)
- ・Iコース(電機)
- ・Jコース(自動車関連)
- ・Kコース(商社)
- ・Lコース(小売・サービス)
- ・Mコース(金融・保険)
- ・Nコース(不動産関連)
- ・Oコース(公益)

追加型投信 国内 株式

・マネープール ファンド

追加型投信 国内 債券

## 【投資信託説明書（交付目論見書）】



ファンド名	商品分類			属性区分		
	単位型・追加型	投資対象地域	投資対象資産(収益の源泉)	投資対象資産	決算頻度	投資対象地域
Aコース～Oコース	追加型	国内	株式	株式 一般	年1回	日本
マネープール ファンド			債券	債券 一般		

上記、商品分類および属性区分の定義については、一般社団法人投資信託協会のホームページ(<http://www.toushin.or.jp/>)でご覧頂けます。

<委託会社> 野村アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図を行なう者]

■金融商品取引業者登録番号: 関東財務局長(金商)第373号 ■設立年月日: 昭和34年(1959年)12月1日

■資本金: 171億円(平成25年3月末現在) ■運用する投資信託財産の合計純資産総額: 17兆1105億円(平成25年2月28日現在)

<受託会社> 三菱UFJ信託銀行株式会社 (再信託受託会社: 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ご購入に際しては、本書の内容を十分にお読みください。

本書は、金融商品取引法(昭和23年法律第25号)第13条の規定に基づく目論見書です。

この目論見書により行なう業種別インデックス・セレクト・ファンドの募集については、発行者である野村アセットマネジメント株式会社(委託会社)は、金融商品取引法第5条の規定により有価証券届出書を平成24年10月19日に関東財務局長に提出しており、平成24年10月20日にその効力が生じております。

- ファンドに関する金融商品取引法第15条第3項に規定する目論見書(以下「請求目論見書」といいます。)は野村アセットマネジメント株式会社のホームページに掲載しています。なお、ファンドの投資信託約款の全文は請求目論見書に記載しています。
- ファンドの内容に関して重大な変更を行なう場合には、投資信託及び投資法人に関する法律(昭和26年法律第198号)に基づき事前に受益者の意向を確認いたします。
- 投資信託の財産は受託会社において信託法に基づき分別管理されています。
- 請求目論見書については販売会社にご請求いただければ当該販売会社を通じて交付いたします。なお、販売会社に請求目論見書をご請求された場合は、その旨をご自身で記録しておくようにしてください。
- ファンドの販売会社、ファンドの基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

照会先

野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104  
<受付時間>営業日の午前9時～午後5時



★ホームページ★

<http://www.nomura-am.co.jp/>



★携帯サイト★ (基準価額等)

<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>



## ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

- 各ファンド(マネープール ファンドを除く、Aコース～Oコースの業種別の15本のファンドを総称して「各ファンド」といいます。)
 

信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行ないます。
- マネープール ファンド
 

安定した収益の確保をはかることを目的として、安定運用を行ないます。

### ファンドの特色

#### ■主要投資対象

- 各ファンド
 

わが国の金融商品取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)のうち、各々以下の株式の中から選定した銘柄を主要投資対象とします。

Aコース(建設)	建設関連企業の株式
Bコース(食品・水産)	食品、水産関連企業の株式
Cコース(繊維・紙パルプ)	繊維、紙・パルプ関連企業の株式
Dコース(化学)	化学関連企業の株式
Eコース(医薬品)	医薬品関連企業を中心に化粧品関連企業の株式
Fコース(石油・非鉄関連)	石油、非鉄関連企業を中心に鉱業、セメント、海運関連企業の株式
Gコース(鉄鋼・造船・金属)	鉄鋼、造船、金属製品関連企業の株式
Hコース(機械・精密)	機械、精密機器関連企業の株式
Iコース(電機)	電気機器関連企業の株式
Jコース(自動車関連)	自動車関連企業を中心にゴム、ガラス、輸送用機器関連企業の株式
Kコース(商社)	商社関連企業の株式
Lコース(小売・サービス)	小売、サービス関連企業の株式
Mコース(金融・保険)	金融、保険関連企業の株式
Nコース(不動産関連)	不動産関連企業を中心に住宅、倉庫関連企業の株式
Oコース(公益)	電力、ガス、通信、鉄道・バス、陸運、空運などの公益関連企業の株式

- マネープール ファンド
 

円建ての公社債およびわが国の金融商品取引所上場株式(これに準ずるものを含みます。)を主要投資対象とします。

## ■投資方針

### ●各ファンド

◆わが国の以下の関連企業の株式全体の値動きを概ねとらえることを目標とします。(①を参照)

◆株式への投資にあたっては、わが国の金融商品取引所上場銘柄(これに準ずるものを含みます。)のうち、以下の業種に属する銘柄の中から、日経500種平均株価の採用銘柄を中心に業種内における代表性、銘柄の分散度合い等を考慮して、投資銘柄を選定します。(②を参照)

ファンド名	①	②
Aコース(建設)	建設関連企業	建設関連業種
Bコース(食品・水産)	食品、水産関連企業	食品、水産関連業種
Cコース(繊維・紙パルプ)	繊維、紙・パルプ関連企業	繊維、紙・パルプ関連業種
Dコース(化学)	化学関連企業	化学関連業種
Eコース(医薬品)	医薬品、化粧品関連企業	医薬品、化粧品関連業種
Fコース(石油・非鉄関連)	石油、非鉄関連企業	石油、非鉄、鉱業、セメント、海運関連業種
Gコース(鉄鋼・造船・金属)	鉄鋼、造船、金属製品関連企業	鉄鋼、造船、金属製品関連業種
Hコース(機械・精密)	機械、精密機器関連企業	機械、精密機器関連業種
Iコース(電機)	電気機器関連企業	電気機器関連業種
Jコース(自動車関連)	自動車関連企業	自動車、ゴム、ガラス、輸送用機器関連業種
Kコース(商社)	商社関連企業	商社関連業種
Lコース(小売・サービス)	小売、サービス関連企業	小売、サービス関連業種
Mコース(金融・保険)	金融、保険関連企業	金融、保険関連業種
Nコース(不動産関連)	不動産関連企業	不動産、住宅、倉庫関連業種
Oコース(公益)	公益関連企業	電力、ガス、通信、鉄道・バス、陸運、空運など公益関連業種

◆原則として選定銘柄<sup>※1</sup>に一定株数投資<sup>※2</sup>を行ない、ポートフォリオを構築します。

※1 選定銘柄は原則として変更しませんが、日経500種平均株価採用銘柄の入替えなどで一定時期に見直して入れ替えることがあります。

※2 ここでいう、一定株数投資とは、日経500種平均株価採用の有無、業種内での代表性、流動性等を勘案して各銘柄毎に決定した一定の株数で投資を行なうことを指します。

◆株式の組入比率は高位を保ちます。

### ●マネープール ファンド

わが国の国債などの公社債への重点投資により、利息収入の確保をはかるとともに、転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債および株式にも投資し、利息収入および売買益の獲得をはかります。

## ■スイッチング

「業種別インデックス・セレクト・ファンド」を構成する16本のファンド間で、スイッチングができます。  
(販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。)

## ■主な投資制限

### ●各ファンド

株式への投資割合	株式への投資割合には制限を設けません。
外貨建資産への投資割合	外貨建資産への投資は行ないません。
デリバティブの利用	デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。

### ●マネープール ファンド

株式への投資割合	株式(新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。)への投資割合は、信託財産の純資産総額の50%未満とします。
外貨建資産への投資割合	外貨建資産への投資は行ないません。
デリバティブの利用	デリバティブの利用はヘッジ目的に限定します。

## ■分配の方針

原則、毎年7月27日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。

### ●各ファンド

分配金額は、原則として利子・配当収入等を中心として委託会社が決定します。

### ●マネープール ファンド

分配金額は、原則として利子・配当収入等を全額分配し、売買益等は留保して委託会社が決定します。



\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、投資を行なっている有価証券等の値動きによる影響を受けませんが、これらの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。

したがって、ファンドにおいて、投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

#### ●各ファンド

**株価変動リスク** ファンドは株式に投資を行ないますので、株価変動の影響を受けます。またファンドは、特定の業種に絞った株式に投資を行ないますので、株式市場全体の動きとファンドの基準価額の動きが大きく異なる場合があります。また、より幅広い業種に分散投資した場合と比べて基準価額が大きく変動する場合があります。

#### ●マネープール ファンド

**債券価格変動リスク** 債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは債券に投資を行ないますので、これらの影響を受けます。

\* 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

### その他の留意点

◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

●資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。

●ファンドが組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが滞る可能性があります。

●有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。

●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。

分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

### リスクの管理体制

委託会社では、ファンドのパフォーマンスの考査および運用リスクの管理をリスク管理関連の委員会を設けて行なっております。

#### ●パフォーマンスの考査

投資信託の信託財産についてパフォーマンスに基づいた定期的な考査(分析、評価)の結果の報告、審議を行ないます。

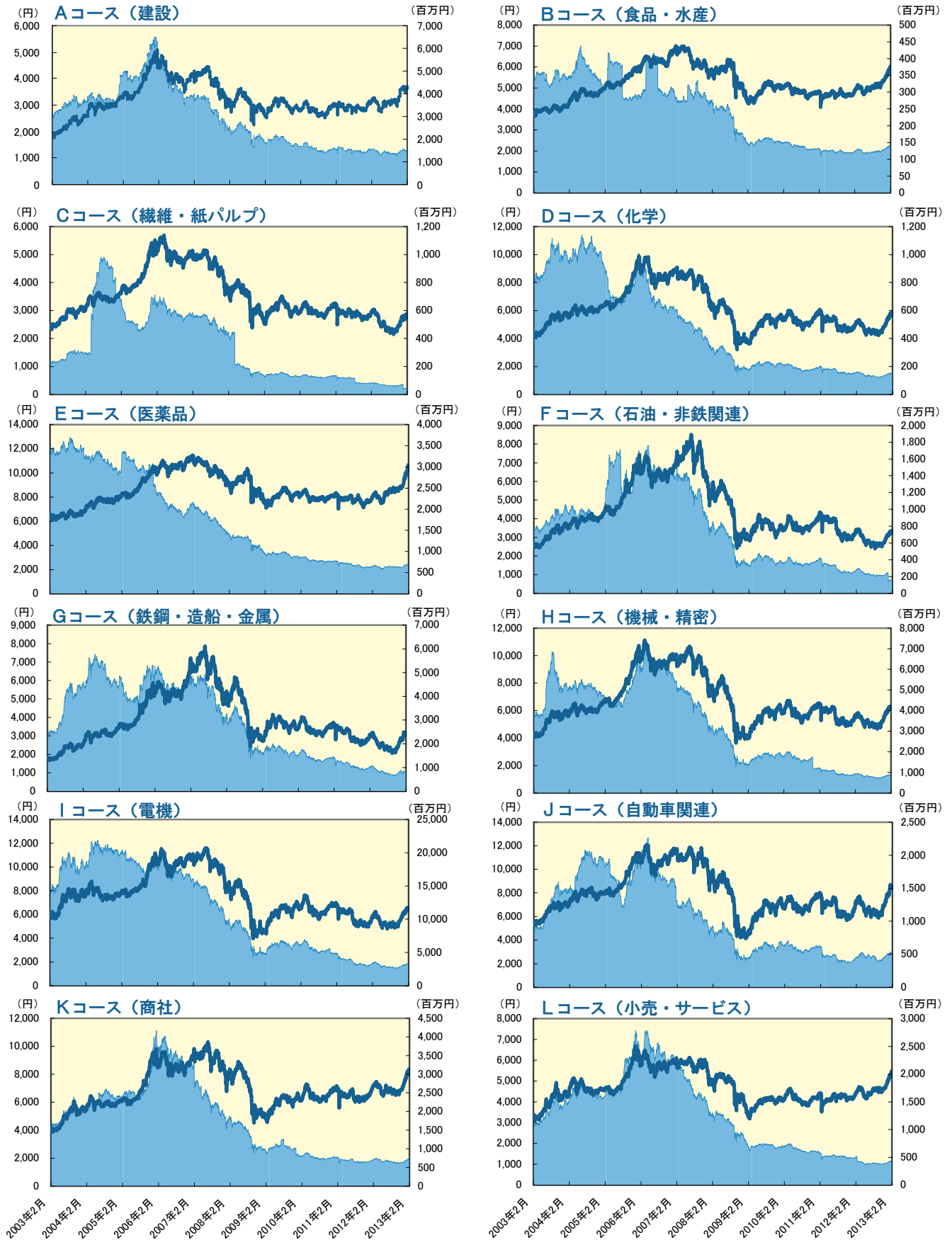
#### ●運用リスクの管理

投資信託の信託財産の運用リスクを把握、管理し、その結果に基づき運用部門その他関連部署への是正勧告を行なうことにより、適切な管理を行ないます。

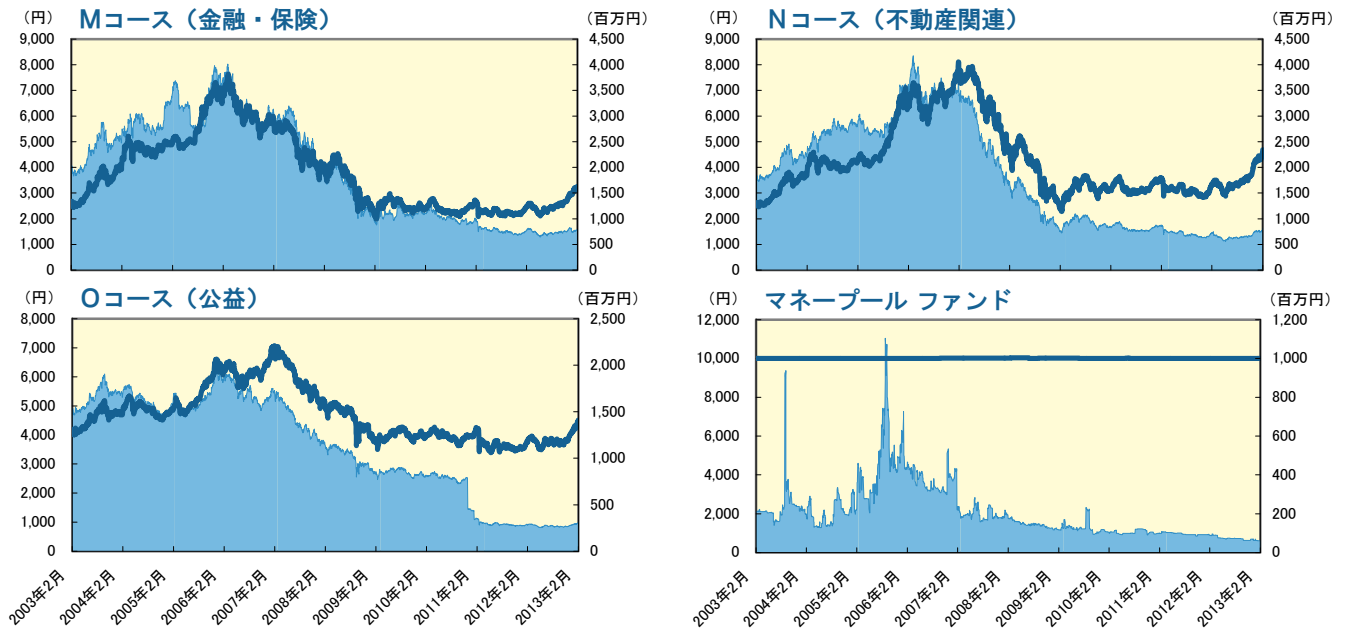
## 運用実績 (2013年2月28日現在)

## 基準価額・純資産の推移 (日次)

— 基準価額(分配後、1万口あたり)(左軸)  
 ■ 純資産総額(右軸)







**分配の推移**

(1万口あたり、課税前)

	Aコース (建設)	Bコース (食品・水産)	Cコース (繊維・紙パルプ)	Dコース (化学)	Eコース (医薬品)	Fコース (石油・非鉄関連)
2012年7月	3 円	4 円	3 円	4 円	30 円	3 円
2011年7月	3 円	4 円	3 円	5 円	30 円	4 円
2010年7月	3 円	4 円	3 円	5 円	25 円	3 円
2009年7月	3 円	4 円	3 円	5 円	30 円	3 円
2008年7月	3 円	10 円	3 円	10 円	45 円	5 円
設定来累計	2,784 円	346 円	1,271 円	973 円	710 円	1,129 円

	Gコース (鉄鋼・造船・金属)	Hコース (機械・精密)	Iコース (電機)	Jコース (自動車関連)	Kコース (商社)	Lコース (小売・サービス)
2012年7月	3 円	4 円	4 円	10 円	15 円	4 円
2011年7月	3 円	10 円	10 円	25 円	15 円	4 円
2010年7月	3 円	5 円	10 円	15 円	10 円	4 円
2009年7月	3 円	5 円	10 円	15 円	10 円	4 円
2008年7月	5 円	25 円	25 円	35 円	25 円	5 円
設定来累計	1,169 円	2,444 円	1,179 円	1,455 円	1,897 円	834 円

	Mコース (金融・保険)	Nコース (不動産関連)	Oコース (公益)	マネープール ファンド
2012年7月	3 円	3 円	3 円	7 円
2011年7月	3 円	3 円	3 円	8 円
2010年7月	3 円	3 円	3 円	9 円
2009年7月	3 円	3 円	4 円	19 円
2008年7月	3 円	4 円	4 円	30 円
設定来累計	486 円	953 円	514 円	2,604 円

## 主要な資産の状況

### 銘柄別投資比率(上位)

#### Aコース(建設)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	日揮	7.7
2	コムシスホールディングス	7.6
3	大東建託	7.5
4	東芝プラントシステム	7.3
5	協和エクシオ	6.2
6	大気社	6.1
7	東鉄工業	4.0
8	前田道路	4.0
9	NIPPO	3.7
10	中電工	3.0

#### Cコース(繊維・紙パルプ)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	東レ	11.6
2	北越紀州製紙	10.1
3	レンゴー	9.1
4	日清紡ホールディングス	7.5
5	王子ホールディングス	7.1
6	グンゼ	4.8
7	ワコールホールディングス	4.4
8	帝人	4.4
9	片倉工業	4.1
10	ダイワボウホールディングス	3.7

#### Eコース(医薬品)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	久光製薬	9.8
2	アステラス製薬	9.1
3	武田薬品工業	8.7
4	エーザイ	7.5
5	ツムラ	5.9
6	花王	5.4
7	小野薬品工業	4.1
8	キョーリン製薬ホールディングス	3.8
9	参天製薬	3.5
10	中外製薬	3.4

#### Gコース(鉄鋼・造船・金属)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	丸一鋼管	10.3
2	共英製鋼	7.6
3	川崎重工業	6.7
4	東洋製罐	6.1
5	大和工業	5.9
6	新日鐵住金	5.7
7	ジェイ エフ イー ホールディングス	4.4
8	三井造船	4.1
9	東プレ	4.0
10	日立金属	3.9

#### Iコース(電機)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	京セラ	10.0
2	ファナック	8.5
3	キーエンス	7.7
4	ヒロセ電機	6.6
5	キヤノン	6.3
6	シスメックス	6.0
7	デンソー	4.8
8	村田製作所	3.5
9	マブチモーター	2.7
10	東京エレクトロン	2.5

#### Bコース(食品・水産)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	伊藤園	10.3
2	日清食品ホールディングス	10.0
3	ヤクルト本社	9.1
4	東洋水産	7.6
5	日本たばこ産業	6.1
6	アサヒグループホールディングス	4.9
7	ホクト	3.7
8	コカ・コーラウエスト	3.3
9	ハウス食品	3.1
10	日本ハム	3.0

#### Dコース(化学)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	信越化学工業	7.5
2	日東電工	7.2
3	JSR	6.2
4	富士フイルムホールディングス	5.9
5	日立化成	4.2
6	クラレ	4.1
7	エア・ウォーター	4.1
8	日産化学工業	3.9
9	関西ペイント	3.2
10	日本ゼオン	3.2

#### Fコース(石油・非鉄関連)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	住友金属鉱山	11.9
2	住友電気工業	8.8
3	東燃ゼネラル石油	7.5
4	出光興産	6.3
5	DOWAホールディングス	5.6
6	昭和シェル石油	5.5
7	大阪チタニウムテクノロジーズ	4.7
8	JXホールディングス	4.6
9	東邦チタニウム	4.0
10	国際石油開発帝石	3.7

#### Hコース(機械・精密)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	SMC	11.0
2	ディスコ	7.3
3	テルモ	5.6
4	HOYA	5.5
5	SANKYO	5.3
6	セガサミーホールディングス	5.3
7	ダイキン工業	4.7
8	豊田自動織機	4.5
9	小松製作所	3.2
10	日立建機	2.9

#### Jコース(自動車関連)

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	トヨタ自動車	10.0
2	本田技研工業	7.3
3	アイシン精機	7.1
4	シマノ	6.4
5	ブリヂストン	5.4
6	スズキ	4.2
7	豊田合成	4.1
8	エクセディ	3.8
9	ダイハツ工業	3.6
10	タカタ	3.2



## Kコース（商社）

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	ユニ・チャーム	9.7
2	アルフレッサ ホールディングス	8.2
3	三井物産	7.4
4	三菱商事	6.6
5	サンリオ	6.6
6	住友商事	6.1
7	スズケン	5.8
8	伊藤忠商事	5.8
9	ミスミグループ本社	3.9
10	豊田通商	3.9

## Lコース（小売・サービス）

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	オリエンタルランド	12.2
2	ファーストリテイリング	11.6
3	ローソン	6.3
4	ドン・キホーテ	5.0
5	セコム	4.4
6	しまむら	4.3
7	任天堂	4.1
8	ツルハホールディングス	3.7
9	ニトリホールディングス	3.2
10	ヤマダ電機	3.1

## Mコース（金融・保険）

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	イオンクレジットサービス	12.8
2	オリックス	9.8
3	三菱UFJリース	8.7
4	東京海上ホールディングス	5.3
5	アコム	4.7
6	静岡銀行	4.4
7	クレディセゾン	4.0
8	日立キャピタル	3.8
9	大和証券グループ本社	2.8
10	スルガ銀行	2.6

## Nコース（不動産関連）

順位	銘柄	投資比率 (%)
1	住友不動産	10.6
2	三井不動産	7.9
3	三菱地所	7.8
4	イオンモール	7.7
5	リンナイ	6.6
6	LIXILグループ	6.2
7	大和ハウス工業	5.5
8	パーク24	5.5
9	三菱倉庫	4.9
10	積水ハウス	3.5

## Oコース（公益）

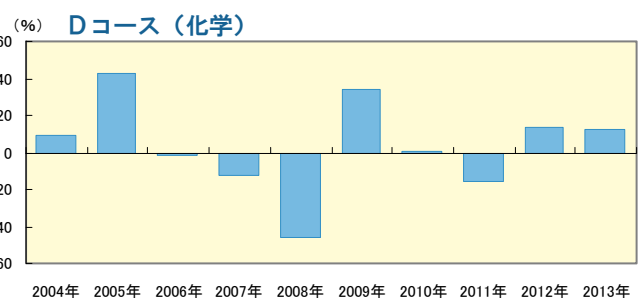
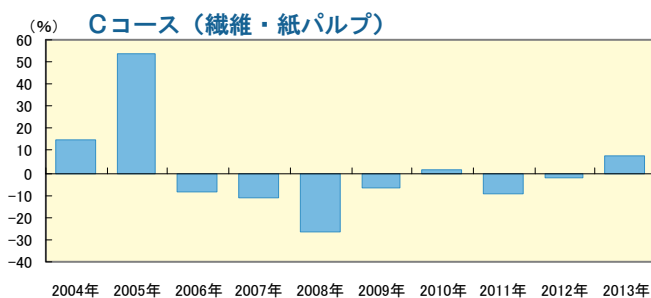
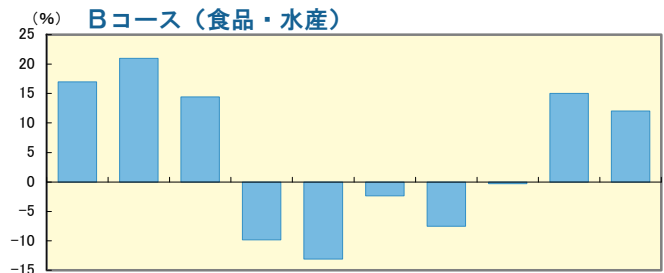
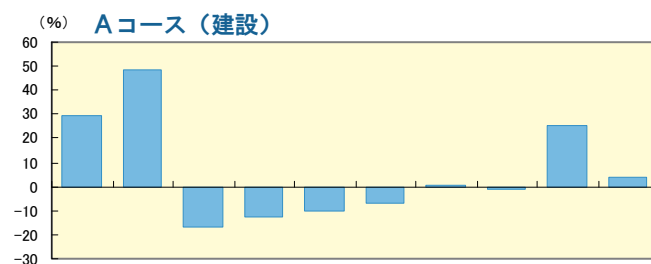
順位	銘柄	投資比率 (%)
1	光通信	9.5
2	ソフトバンク	9.0
3	KDDI	6.8
4	エヌ・ティ・ティ・データ	6.7
5	ヤマトホールディングス	4.0
6	フジ・メディア・ホールディングス	3.7
7	日本テレビホールディングス	3.6
8	日立物流	3.4
9	東京放送ホールディングス	3.1
10	沖縄電力	2.7

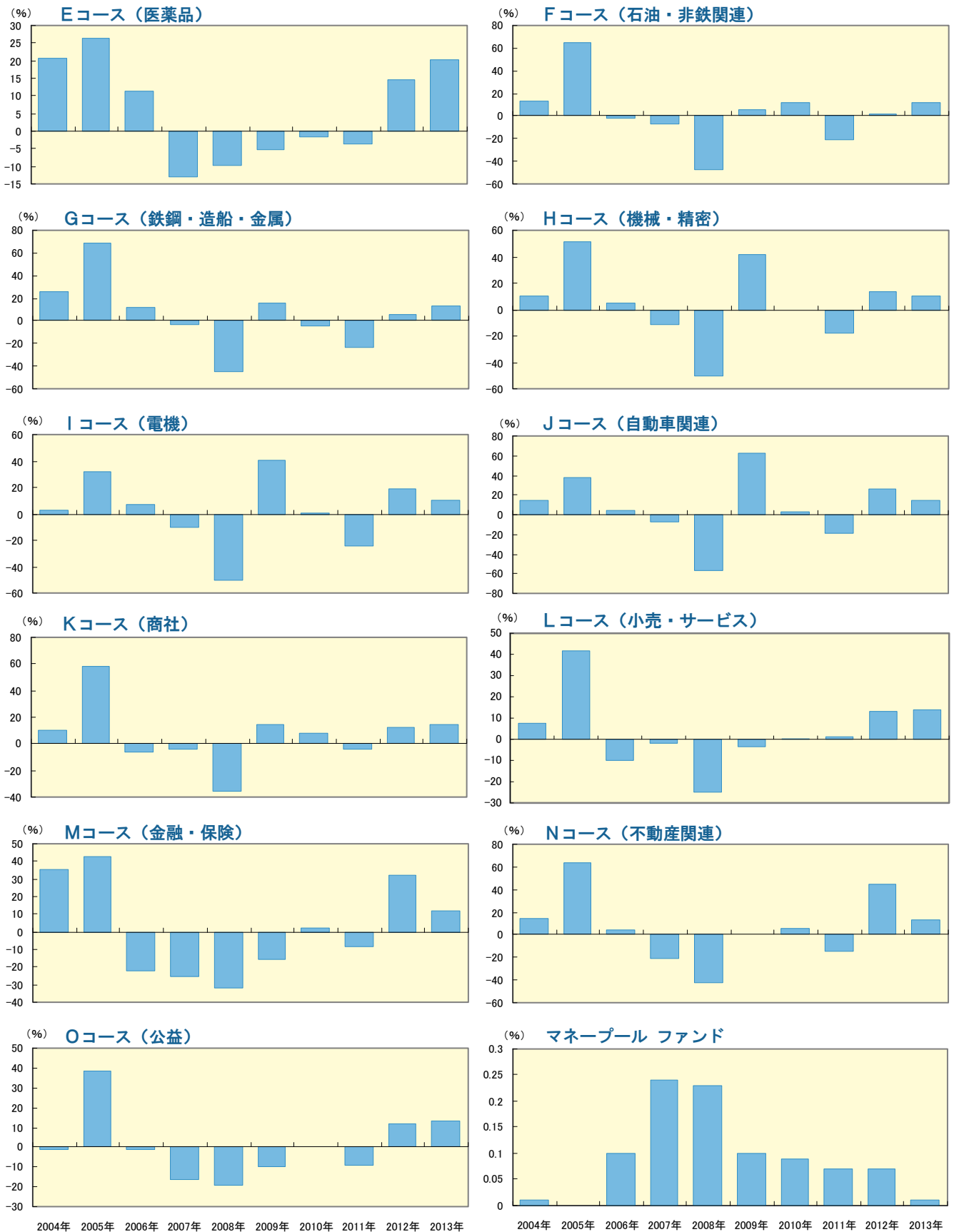
## マネープール ファンド

資産の種類	投資比率 (%)
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	100.0

## 年間収益率の推移

(暦年ベース)





- ・ファンドの年間収益率は税引前分配金を再投資して算出。
- ・ファンドにベンチマークはありません。
- ・2013年は年初から運用実績作成基準日までの収益率。

●ファンドの運用実績はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果を約束するものではありません。●ファンドの運用状況は、別途、委託会社ホームページで開示している場合があります。●グラフの縦軸の目盛りはファンドごとに異なる場合があります。

## 手続・手数料等

### お申込みメモ

購入単位	10万円以上1円単位(当初元本1口=1円) なお、「マネープール ファンド」は、スイッチング以外による購入はできません。
購入価額	購入申込日の基準価額 (ファンドの基準価額は1万口あたりで表示しています。)
購入代金	原則、購入申込日から起算して4営業日目までに、お申込みの販売会社にお支払いください。
購入に際して	販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。
換金単位	1円単位または1口単位
換金価額	換金申込日の基準価額
換金代金	原則、換金申込日から起算して4営業日目から、お申込みの販売会社でお支払いします。
申込締切時間	午後1時30分までに、販売会社が受付けた分を当日のお申込み分とします。
購入の申込期間	平成24年10月20日から平成25年7月25日まで
換金制限	・各ファンド 1日1件10億円を超える換金は行なえません。 ※上記のほか、各ファンドおよび「マネープール ファンド」において換金制限を設ける場合があります。
スイッチング	「業種別インデックス・セレクト・ファンド」を構成するファンド間で、スイッチングができます。 スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。 ただし、全額をスイッチングされる場合は、3000円以上1円単位での購入とします。 (販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。)
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止等、その他やむを得ない事情があるときは、購入、換金、スイッチングの各お申込みの受付を中止すること、および既に受付けた購入、換金、スイッチングの各お申込みの受付を取消すことがあります。
信託期間	平成25年7月27日まで(昭和63年7月28日設定)
繰上償還	各ファンドおよび「マネープール ファンド」の受益権口数を合計した口数が50億口を下回った場合等は、償還となる場合があります。
決算日	原則、毎年7月27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回の決算時に分配を行ないます。(原則再投資)
信託金の限度額	各ファンドおよび「マネープール ファンド」につき、5000億円
公告	原則、 <a href="http://www.nomura-am.co.jp/">http://www.nomura-am.co.jp/</a> に電子公告を掲載します。
運用報告書	ファンドの決算時および償還時に運用報告書を作成し、知れている受益者に交付します。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。各ファンドは益金不算入制度、配当控除の適用が可能です。なお、「マネープール ファンド」は益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

※購入、換金、スイッチングの各お申込みの方法ならびに単位、および分配金のお取扱い等について、販売会社によっては上記と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## ファンドの費用・税金

### ■ファンドの費用

#### ●各ファンド

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入価額に <b>2.1%(税抜2.0%)以内</b> で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 (詳しくは販売会社にお問い合わせ、もしくは購入時手数料を記載した書面をご覧ください。)
信託財産留保額	ありません

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。 ファンドの信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 信託報酬率の配分は下記の通りとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">信託報酬率</th> <th>年0.966%(税抜年0.92%)以内 (平成25年4月23日現在 <b>年0.966%(税抜年0.92%)</b>)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">配分 (税抜)</td> <td>委託会社</td> <td>年0.30%</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.57%</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.05%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 上記配分は、平成25年4月23日現在の信託報酬率における配分です。</p>	信託報酬率		年0.966%(税抜年0.92%)以内 (平成25年4月23日現在 <b>年0.966%(税抜年0.92%)</b> )	配分 (税抜)	委託会社	年0.30%	販売会社	年0.57%	受託会社	年0.05%
信託報酬率		年0.966%(税抜年0.92%)以内 (平成25年4月23日現在 <b>年0.966%(税抜年0.92%)</b> )									
配分 (税抜)	委託会社	年0.30%									
	販売会社	年0.57%									
	受託会社	年0.05%									
その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料</li> <li>・ファンドに関する租税、監査費用 等</li> </ul>										

#### ●マネープール ファンド

#### 投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	ありません
信託財産留保額	ありません

#### 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、日々のファンドの純資産総額に信託報酬率を乗じて得た額とします。 ファンドの信託報酬は、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときファンドから支払われます。 信託報酬率およびその配分については、「コールレート」に応じて下記の通りとします。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コールレート</th> <th>0.4%未満</th> <th>0.4%以上 0.65%未満</th> <th>0.65%以上 1.0%未満</th> <th>1.0%以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>信託報酬率</td> <td>年0.1575% (税抜年0.15%)以内</td> <td>年0.315% (税抜年0.30%)</td> <td>年0.5775% (税抜年0.55%)</td> <td>年0.945% (税抜年0.90%)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">配分 (税抜)</td> <td>委託会社</td> <td>年0.065%以内</td> <td>年0.13%</td> <td>年0.22%</td> </tr> <tr> <td>販売会社</td> <td>年0.070%以内</td> <td>年0.14%</td> <td>年0.28%</td> </tr> <tr> <td>受託会社</td> <td>年0.015%以内</td> <td>年0.03%</td> <td>年0.05%</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 平成25年4月23日現在の信託報酬率は<b>年0.021%(税抜年0.02%)</b>となっております。</p>	コールレート	0.4%未満	0.4%以上 0.65%未満	0.65%以上 1.0%未満	1.0%以上	信託報酬率	年0.1575% (税抜年0.15%)以内	年0.315% (税抜年0.30%)	年0.5775% (税抜年0.55%)	年0.945% (税抜年0.90%)	配分 (税抜)	委託会社	年0.065%以内	年0.13%	年0.22%	販売会社	年0.070%以内	年0.14%	年0.28%	受託会社	年0.015%以内	年0.03%	年0.05%
コールレート	0.4%未満	0.4%以上 0.65%未満	0.65%以上 1.0%未満	1.0%以上																				
信託報酬率	年0.1575% (税抜年0.15%)以内	年0.315% (税抜年0.30%)	年0.5775% (税抜年0.55%)	年0.945% (税抜年0.90%)																				
配分 (税抜)	委託会社	年0.065%以内	年0.13%	年0.22%																				
	販売会社	年0.070%以内	年0.14%	年0.28%																				
	受託会社	年0.015%以内	年0.03%	年0.05%																				
その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として、以下の費用等がファンドから支払われます。これらの費用等は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料</li> <li>・ファンドに関する租税、監査費用 等</li> </ul>																							

## ■税金

- 税金は表に記載の時期に適用されます。
- 以下の表は、個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。

時期	項目	税金
分配時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	配当所得として課税 普通分配金に対して10.147%
換金(解約)時及び 償還時	所得税、復興特別所得税 及び地方税	譲渡所得として課税 換金(解約)時及び償還時の差益(譲渡益)に対して10.147%

- \* 上記は平成25年2月末現在のもので、税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。
- \* 法人の場合は上記とは異なります。
- \* 税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## 追加的記載事項

### ●ファンドの名称について

ファンドの名称については、正式名称ではなく略称等で記載する場合があります。

ファンドの正式名称	略称等
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Aコース(建設))	Aコース(建設)
	業種別インデックス(A建設)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Bコース(食品・水産))	Bコース(食品・水産)
	業種別インデックス(B食品・水産)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Cコース(繊維・紙パルプ))	Cコース(繊維・紙パルプ)
	業種別インデックス(C繊維・紙パルプ)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Dコース(化学))	Dコース(化学)
	業種別インデックス(D化学)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Eコース(医薬品))	Eコース(医薬品)
	業種別インデックス(E医薬品)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Fコース(石油・非鉄関連))	Fコース(石油・非鉄関連)
	業種別インデックス(F石油・非鉄関連)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Gコース(鉄鋼・造船・金属))	Gコース(鉄鋼・造船・金属)
	業種別インデックス(G鉄鋼・造船・金属)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Hコース(機械・精密))	Hコース(機械・精密)
	業種別インデックス(H機械・精密)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Iコース(電機))	Iコース(電機)
	業種別インデックス(I電機)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Jコース(自動車関連))	Jコース(自動車関連)
	業種別インデックス(J自動車関連)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Kコース(商社))	Kコース(商社)
	業種別インデックス(K商社)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Lコース(小売・サービス))	Lコース(小売・サービス)
	業種別インデックス(L小売・サービス)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Mコース(金融・保険))	Mコース(金融・保険)
	業種別インデックス(M金融・保険)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Nコース(不動産関連))	Nコース(不動産関連)
	業種別インデックス(N不動産関連)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(Oコース(公益))	Oコース(公益)
	業種別インデックス(O公益)
業種別インデックス・セレクト・ファンド(マネープール ファンド)	マネープール ファンド
	業種別インデックス(マネープール)

なお、全てのファンドを総称して「業種別インデックス・セレクト・ファンド」という場合があります。



